

プログラム近況報告

2014年度(2013年10月1日～2014年9月30日)

World Vision

この子を救う。未来を救う。

ラオス人民民主共和国

パクサン地域開発プログラム(LAO-185689)



チャイルド・スポンサーから送られた誕生日カードを大切にしているポウイ君(11歳)



支援によって建設された道路を自転車で通学する子どもたち

チャイルドストーリー

村から小学校までの道路が改善し、 自転車で通学できるようになりました

パクサン地域開発プログラム(以下、ADP)の支援地域に住むポウイ君は、農業を営む両親と兄弟とともに暮らしています。ポウイ君は小学校に通っていますが、以前は村から小学校までの道路が整備されていなかったため、雨期には通学がとても大変でした。通学路には、泥やぬかるみによって歩くのが大変な場所や、渡るのが難しい材木の橋があり、激しい雨の日には川の流れが強く、学校に行けなかったと言います。「学校に行くには、川を歩いて渡らなければなりません。水に濡れて泥で

汚れてしまって、時にはヒルにかまれることもありました。」

このような通学路を改善するため、ワールド・ビジョン(以下、WV)の支援によって、村から学校までの道路と小さなダムが建設されました。道路が整備されたことで、ポウイ君は自転車で通学できるようになり、村の人々はダムからの水で家庭菜園を始めることができました。ポウイ君は元気に学校に通い、休み時間には友だちとサッカーをして楽しんでいます。

食料安全保障プロジェクト

農業の技術改善を通して子どもたちの栄養や教育、健康の改善を目指しています

地域の人々が年間を通して十分な食料を得られるように、農業の技術改善やグループ活動を支援しています。2014年度は17村の306人の農民に改良品種の種もみを提供し、研修を行いました。また11村の55人に対して二期作や乾期に作る作物の研修を行いました。研修を受けた人々は得られた技

術を活かして農作業に励んでいます。

また、13村の45人の農民に対して家畜飼育技術とグループ形成の支援を実施。さらに、それぞれの村の住民にボランティア獣医としての研修と道具の提供を行い、地域で家畜の健康を支えられるよう支援しました。



30kgの種もみから1,500kgものコメを収穫することができました。種もみはADPに返済し、来年また別の家族に提供されます

ADPから改良品種の種もみ30kgを提供されたシトゥアンさん



乾期にも収穫できる作物の栽培を始め、年間を通して食料が得られるようになっただけでなく、年間約160ドルの収入を得られるようになりました

ADPの支援を受けビニールハウスでの野菜栽培を始めたシヴォイさん



のべ**406**人に農業、畜産の技術研修を実施

保健衛生プロジェクト

安全な出産を推進するために住民の意識も変わりつつあります

安全に出産できる環境を整えるため、産前・産後健診の重要性を啓発するとともに、予防接種や母乳保育の奨励、栄養に関するキャンペーンなどの活動を行いました。また、地域の4つの保健センターに必要な機材を支援しました。さらに、32人の村落保健ボランティアに対して研修を行い、子どもやその家族に対して、医療専門職による定期健診や出産の重要性

を地域住民に啓発する活動を行いました。これらの活動の結果、85%の妊婦が4回以上の産前健診を受診しました。

また、1つの村に1本の深井戸を設置し、10村の103世帯にトイレの設置を支援。郡保健局の統計では地域の95%の世帯が安全な水を得ることができるようになりました。



井戸ができ、きれいな水を得られるようになりました



もう森で用を足さなくてもよいので嬉しいです

学校にきれいなトイレができました



85%の妊婦が4回以上の産前健診を受診

教育プロジェクト

教育の質向上のための取り組みを行っています

教育の質向上のため、小学校1校の改築資材の提供と、1校への教材提供を行いました。また教員の研修を行い、3つのモデル校では研修を受けた教員への追加指導や、カリキュラム・授業内容の定期的確認を強化しています。今後モデル校での成果が他校にも波及することを目指しています。

ADPでは、就学前教育の活動を通して子どもたちの栄養状態を確認したり、親や保護者に対して健康や教育の重要性について啓発することも推進しています。2014年度は2つの村で啓発イベントを行い、350人の保護者、450人の生徒と19人の小学校教員が参加しました。



ゲームを通して教育の重要性を住民に伝える手法について学ぶ教員たち



3つのモデル小学校を指定して教育の質をモニタリング

指導者育成プロジェクト

子どもや女性も暮らしやすい地域づくりを推進しています

地域で対象とする20の村には村落開発委員会が設置され、将来にわたって住民主体の地域づくりが進められるよう研修や訓練が続けられています。また、2014年度は、男性にも女性にも暮らしやすい社会を作るために、男女共同参画についての研修も実施。16村で280人の女性を含む420人の住民が参加しました。2015年度のADPの活動計画策定作業にも、20の村落委員会が参加しています。



県・郡政府との四半期ごとのミーティングには地域の子どもたちも参加し、子どもたちの声が活動計画に生かされています



420人の住民に対して男女共同参画研修を実施



支援地域の女性のストーリー

トイレと井戸ができ、衛生的な生活環境が整いつつあります

ソーンさんには、夫と3人の子どもがいます。以前は、ソーンさんの家にはトイレがなく、家の外の藪に用を足しに行っていたと言います。しかし、ADPの支援によって、村には家庭用トイレや井戸が建設され、ソーンさんの家にもトイレができました。

「支援のおかげで、トイレのために外に行かなくてもよくなりました。また井戸ができ、毎日の暮らしで飲料用や洗い物をするための清潔な水を得られるようになりました。WVの支援によって、私たちの生活は一変しました」とソーンさんは喜んでます。

ソーンさんは、自分以外の貧しい家庭も将来もっと良い暮らしができるようにと願っています。そのために、村の道路の建設や、水道用のポンプ増設、家畜購入など、村の抱えている課題についてどうしたら良いか、自分なりに考えるようになりました。



支援地域に住むソーンさん(32歳)写真中央。娘たちとともに



ADP マネージャー・インタビュー

Q.ADPでどのような仕事をしていますか。

ADPの責任者として、予算に基づいたプロジェクトの企画運営、行政のパートナーとの関係構築、プロジェクトの報告と評価、11人のADPスタッフの管理と能力開発を行っています。

Q.2014年度の活動で大変だったことは何ですか。

政府機関との連携や、限られた予算内で活動を実施することが困難でした。また、地域住民の中にはADPの活動に積極的に参加しない人々もいるため、活動について住民によく説明し、理解してもらうようにしています。

Q.あなたがWVで働き続ける原動力は何ですか。

貧しい家族、特に弱い立場にある子どもたちを中心に支援しながら、地域開発を行うというWVの支援方法がとても良いと思っています。



パクサン ADPマネージャー ペット・ワタナ (54歳)

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト



「子どもクラブ」でのレクリエーション活動の様子

ラオスとその周辺国はメコン拡大地域と呼ばれ、経済成長が著しい地域です。しかし、経済的に貧しいラオスでは、仕事を求めて農村から都市部や周辺国へ家族で移住したり、子どもたちが学校へ通うことより働くことを優先させられてしまうという問題が起きています。そこでADPでは、この問題への取り組みの一環として、チャイルドとその家庭への訪問回数を増やしたり、地域の子どもや住民との対話の機会を増やすなどの取り組みを行っています。その結果、子どもたちの退学率の低下や大人たちの「子どもを中心とした開発」への理解が進むなど、徐々に変化が見られるようになってきています。

会計報告

LAO-185689

収支計算書 自2013年10月1日 至2014年9月30日

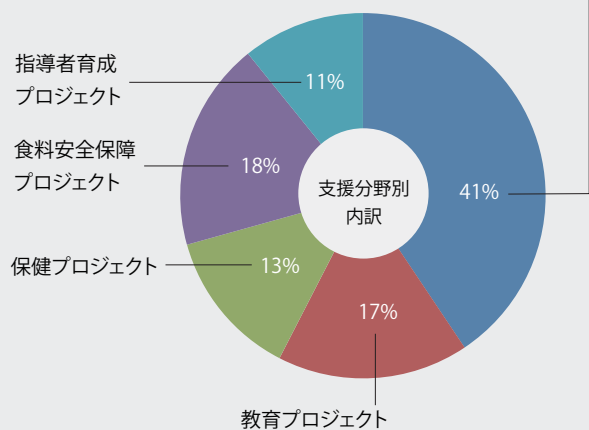
プログラム支援額(単位:円)

チャイルド・スポンサーシップ	14,320,030
当期支援額	14,320,030
前期繰越金	13,473,586
プログラム支援額合計	27,793,616

プログラム支出額

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	12,676,668
教育プロジェクト	5,290,051
保健プロジェクト	4,095,600
食料安全保障プロジェクト	5,773,660
指導者育成プロジェクト	3,380,293
プログラム支出額合計	31,216,272
次期繰越額	-3,422,656

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト



お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
電話：03-5334-5351 (平日 9:30 ~ 17:00)
FAX：03-5334-5359

ワールド・ビジョン

検索

ホームページ：www.worldvision.jp
e-mail：dservice@worldvision.or.jp